



2025年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年9月12日

上場会社名 株式会社 山王 上場取引所 東
コード番号 3441 URL <https://www.sanno.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒巻 拓也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 浜口 和雄 TEL 045-542-8241
定時株主総会開催予定日 2025年10月28日 配当支払開始予定日 2025年10月29日
有価証券報告書提出予定日 2025年10月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2025年7月期の連結業績（2024年8月1日～2025年7月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期	10,830	23.0	796	241.7	806	122.3	765	144.8
2024年7月期	8,802	△8.0	232	13.3	363	51.4	312	103.0

(注) 包括利益 2025年7月期 513百万円 (△21.5%) 2024年7月期 653百万円 (76.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年7月期	172.65	—	11.6	6.5	7.4
2024年7月期	68.41	—	5.1	3.1	2.6

(参考) 持分法投資損益 2025年7月期 ー百万円 2024年7月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年7月期	12,851	6,755	52.6	1,561.75
2024年7月期	12,054	6,419	53.3	1,437.50

(参考) 自己資本 2025年7月期 6,755百万円 2024年7月期 6,419百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年7月期	461	28	△35	2,938
2024年7月期	1,054	△283	△495	2,551

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00	44	14.6	0.7
2025年7月期	—	0.00	—	22.00	22.00	95	12.7	1.4
2026年7月期 (予想)	—	0.00	—	25.00	25.00		24.6	

3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,900	0.6	500	△37.2	490	△39.3	440	△42.5	101.72

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 有
新規 1社 (社名) 株式会社明王化成、除外 1社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年7月期	5,000,000株	2024年7月期	5,000,000株
2025年7月期	674,448株	2024年7月期	534,248株
2025年7月期	4,435,051株	2024年7月期	4,571,574株

(参考) 個別業績の概要
2025年7月期の個別業績 (2024年8月1日～2025年7月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期	7,580	28.5	535	—	1,098	—	1,081	—
2024年7月期	5,898	△22.1	△188	—	△28	—	△40	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期	243.93	—
2024年7月期	△8.95	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年7月期	11,820	5,955	50.4	1,376.79
2024年7月期	10,495	5,051	48.1	1,131.27

(参考) 自己資本 2025年7月期 5,955百万円 2024年7月期 5,051百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1. 経営成績等の概況(1) 経営成績に関する分析 2. 次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	12
(企業結合等に関する注記)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

1. 当期の営業成績

当連結会計年度における世界経済におきましては、欧州経済ではインフレは一服したものの景況感は減速しつつあり、中国経済では不動産市場など内需低迷により、景気の停滞が継続しております。また、アメリカ経済ではインフレ率鈍化の中で比較的堅調さを維持してきたものの減速感が見られる状況となりました。

我が国経済におきましては、インバウンド需要や個人消費が堅調なことにより景気は回復基調で推移しました。一方で原材料価格の高止まりや物価の上昇、アメリカ関税政策を巡る動向など依然として不透明感の高い状況となっております。

当社グループが属する電子工業界では、自動車市場では比較的底堅く推移し、通信市場においても一部製品において需要が回復し、在庫調整が長期化していた産業機器向け分野では回復の兆しが見えるなど、当連結会計年度は厳しさが継続する中でも堅調に推移しました。

このような状況のもと当社グループは、微細めつき技術の追求等による品質向上や、製造工程の自動化等による生産性向上に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は10,830百万円（前年同期比23.0%増）、営業利益は796百万円（前年同期比241.7%増）、経常利益は806百万円（前年同期比122.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は765百万円（前年同期比144.8%増）となりました。

2. 次期の見通し

当社グループを取り巻く経済環境は、アメリカの関税政策や地政学リスクによる影響が懸念される状況にあり、中国経済の景気低迷、ウクライナや中東地域をめぐる情勢の緊迫化など、先行き不透明な状況が続くことが想定されます。

当社グループの属する電子工業界においても大きな影響が出るものと予測しておりますが、自動車向け分野の電子部品需要は引き続き堅調であり、通信向け分野での次世代高速通信開発や産業機器向け分野での回復が期待されております。

このような状況のもと当社グループは、受注拡大、生産能力増強、新規事業の創出、カーボンニュートラルに向けた取り組み、働く環境整備を進めるなど経営体質改善に向けた取り組みを行っております。

こうした状況から、今後世界的な経済活動及び当社グループの生産活動や原材料調達等サプライチェーンの支障がないこと等の前提に基づき、原材料価格の高騰や将来に向けた設備投資に対する償却費負担増加等を織り込み、現時点の次期連結業績としましては、売上高10,900百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益500百万円（前年同期比37.2%減）、経常利益490百万円（前年同期比39.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、440百万円（前年同期比42.5%減）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

1. 当連結会計年度の資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、現金及び預金が290百万円減少したものの、原材料及び貯蔵品が323百万円、機械装置及び運搬具（純額）が272百万円、売掛金が259百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ797百万円増加し、12,851百万円となりました（前連結会計年度末は12,054百万円）。

負債は、長期借入金が333百万円減少したものの、短期借入金が580百万円、流動負債その他が173百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ461百万円増加し、6,096百万円となりました（前連結会計年度末は5,634百万円）。

また純資産は、為替換算調整勘定が248百万円減少、自己株式が134百万円増加したものの、利益剰余金が721百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ335百万円増加し、6,755百万円となりました（前連結会計年度末は6,419百万円）。

2. 当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末と比較して386百万円増加し、2,938百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、461百万円の増加（前年同期は1,054百万円の増加）となりました。これは主に棚卸資産の増加が386百万円、売上債権の増加が366百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が813百万円、減価償却費が448百万円あったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、28百万円の増加（前年同期は283百万円の減少）となりました。これは主に定期預金預け入れによる支出が748百万円、有形固定資産の取得による支出が580百万円あったものの、定期預金の払戻しによる収入が1,349百万円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、35百万円の減少（前年同期は495百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の増加が580百万円あったものの、長期借入返済による支出が352百万円、自己株式の取得による支出が139百万円、リース債務返済による支出が76百万円、配当金の支払が44百万円あったことなどによるものであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年 7 月 31 日)	当連結会計年度 (2025年 7 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,901,078	3,610,800
受取手形	439,178	533,002
売掛金	1,742,061	2,001,558
製品	179,830	216,052
原材料及び貯蔵品	1,790,753	2,114,164
その他	186,006	121,564
貸倒引当金	-	△420
流動資産合計	8,238,908	8,596,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	429,819	474,465
機械装置及び運搬具（純額）	601,748	874,344
土地	1,226,410	1,226,410
リース資産（純額）	212,981	195,850
建設仮勘定	539,974	572,989
その他（純額）	137,566	139,624
有形固定資産合計	3,148,501	3,483,685
無形固定資産	147,300	116,347
投資その他の資産		
投資有価証券	358,207	369,284
繰延税金資産	847	115,765
その他	160,739	169,992
投資その他の資産合計	519,794	655,042
固定資産合計	3,815,595	4,255,075
資産合計	12,054,504	12,851,797

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年 7 月 31 日)	当連結会計年度 (2025年 7 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	364,053	422,612
短期借入金	2,520,000	3,100,000
1 年内返済予定の長期借入金	346,148	347,560
リース債務	70,692	75,287
未払法人税等	19,856	102,233
その他	699,582	872,976
流動負債合計	4,020,332	4,920,670
固定負債		
長期借入金	1,119,350	786,044
リース債務	199,815	169,632
退職給付に係る負債	175,456	176,035
繰延税金負債	1,795	3,846
その他	118,220	40,129
固定負債合計	1,614,638	1,175,688
負債合計	5,634,970	6,096,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	872,746
利益剰余金	3,761,183	4,482,219
自己株式	△260,558	△395,210
株主資本合計	5,333,445	5,921,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,525	66,963
為替換算調整勘定	1,012,211	763,517
退職給付に係る調整累計額	5,350	3,001
その他の包括利益累計額合計	1,086,088	833,483
純資産合計	6,419,533	6,755,438
負債純資産合計	12,054,504	12,851,797

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年 8 月 1 日 至 2024年 7 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2024年 8 月 1 日 至 2025年 7 月 31 日)
売上高	8,802,115	10,830,372
売上原価	7,359,687	8,635,612
売上総利益	1,442,428	2,194,759
販売費及び一般管理費	1,209,436	1,398,535
営業利益	232,991	796,224
営業外収益		
受取利息	40,637	37,684
受取配当金	6,739	9,529
受取賃貸料	5,450	6,339
為替差益	2,921	—
補助金収入	122,702	12,259
その他	22,503	20,575
営業外収益合計	200,954	86,387
営業外費用		
支払利息	43,196	56,404
支払手数料	1,999	1,999
為替差損	—	583
損害賠償損失	11,436	3,978
その他	14,234	12,685
営業外費用合計	70,867	75,652
経常利益	363,078	806,959
特別利益		
投資有価証券売却益	8,664	—
固定資産売却益	3,382	1,117
貸倒引当金戻入額	—	493
債務免除益	—	5,230
特別利益合計	12,047	6,841
特別損失		
固定資産除却損	20,074	541
特別損失合計	20,074	541
税金等調整前当期純利益	355,051	813,259
法人税、住民税及び事業税	46,553	162,398
法人税等調整額	△4,251	△114,832
法人税等合計	42,302	47,565
当期純利益	312,749	765,693
親会社株主に帰属する当期純利益	312,749	765,693

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年8月1日 至 2024年7月31日）	当連結会計年度 （自 2024年8月1日 至 2025年7月31日）
当期純利益	312,749	765,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,016	△1,561
為替換算調整勘定	331,195	△248,694
退職給付に係る調整額	5,896	△2,348
その他の包括利益合計	341,108	△252,604
包括利益	653,857	513,088
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	653,857	513,088

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2023年8月1日 至 2024年7月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	962,200	870,620	3,494,592	△125,507	5,201,905
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△46,157	—	△46,157
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	312,749	—	312,749
自己株式の取得	—	—	—	△135,051	△135,051
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	266,591	△135,051	131,540
当期末残高	962,200	870,620	3,761,183	△260,558	5,333,445

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	64,509	681,016	△546	744,979	5,946,884
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△46,157
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	312,749
自己株式の取得	—	—	—	—	△135,051
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	4,016	331,195	5,896	341,108	341,108
当期変動額合計	4,016	331,195	5,896	341,108	472,649
当期末残高	68,525	1,012,211	5,350	1,086,088	6,419,533

当連結会計年度（自 2024年8月1日 至 2025年7月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	962,200	870,620	3,761,183	△260,558	5,333,445
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△44,657	—	△44,657
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	765,693	—	765,693
自己株式の取得	—	—	—	△139,434	△139,434
譲渡制限付株式報酬	—	2,126	—	4,782	6,909
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	2,126	721,036	△134,652	588,510
当期末残高	962,200	872,746	4,482,219	△395,210	5,921,955

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	68,525	1,012,211	5,350	1,086,088	6,419,533
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△44,657
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	765,693
自己株式の取得	—	—	—	—	△139,434
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	—	6,909
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,561	△248,694	△2,348	△252,604	△252,604
当期変動額合計	△1,561	△248,694	△2,348	△252,604	335,905
当期末残高	66,963	763,517	3,001	833,483	6,755,438

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年 8 月 1 日 至 2024年 7 月31日)	当連結会計年度 (自 2024年 8 月 1 日 至 2025年 7 月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	355,051	813,259
減価償却費	462,192	448,283
固定資産除却損	20,074	541
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3,382	△1,117
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△73
補助金収入	△122,702	△12,259
損害賠償損失	11,436	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8,664	—
債務免除益	—	△5,230
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,503	△4,156
受取利息及び受取配当金	△47,376	△47,214
のれん償却額	—	4,330
支払利息	43,196	56,404
為替差損益 (△は益)	△2,451	807
売上債権の増減額 (△は増加)	△170,607	△366,556
棚卸資産の増減額 (△は増加)	36,320	△386,138
未収入金の増減額 (△は増加)	60,793	33,575
仕入債務の増減額 (△は減少)	158,500	52,561
未払又は未収消費税等の増減額	134,651	△93,584
未払金の増減額 (△は減少)	7,133	△42,393
未払費用の増減額 (△は減少)	75,013	35,330
その他	△29,286	44,536
小計	966,389	530,906
利息及び配当金の受取額	35,829	64,198
利息の支払額	△43,228	△56,404
補助金の受取額	122,702	12,259
法人税等の支払額	△26,855	△89,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,054,837	461,747
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,386,902	△748,737
定期預金の払戻による収入	1,357,450	1,349,487
有形固定資産の取得による支出	△239,289	△580,041
有形固定資産の売却による収入	4,888	1,117
無形固定資産の取得による支出	△17,231	—
投資有価証券の取得による支出	△10,733	△8,399
投資有価証券の売却による収入	8,665	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	15,268
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,153	28,696
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	120,000	580,000
長期借入金の返済による支出	△346,148	△352,684
リース債務の返済による支出	△86,416	△76,486
配当金の支払額	△46,190	△44,853
自己株式の取得による支出	△135,051	△139,434
その他	△2,000	△2,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△495,806	△35,658
現金及び現金同等物に係る換算差額	72,695	△67,888
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	348,573	386,896
現金及び現金同等物の期首残高	2,203,158	2,551,731
現金及び現金同等物の期末残高	2,551,731	2,938,628

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、貴金属表面処理事業の単一事業であり、国内においては当社及び株式会社明王化成が、海外においては東南アジアの各地域をSPMC（Sanno Philippines Manufacturing Corporation）がそれぞれ担当しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「フィリピン」の２つを報告セグメントとしております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの金額であります。セグメント間の内部利益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度（自 2024年8月1日 至 2025年7月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	フィリピン	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,652,895	3,177,476	10,830,372	—	10,830,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	59,065	—	59,065	△59,065	—
計	7,711,961	3,177,476	10,889,437	△59,065	10,830,372
セグメント利益	508,864	243,314	752,178	44,046	796,224
セグメント資産	11,956,099	2,963,790	14,919,889	△2,068,091	12,851,797
その他の項目					
減価償却費	378,895	69,387	448,283	—	448,283
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	629,112	209,581	838,693	△53,931	784,762

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額は、セグメント間の相殺消去であります。

２．セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
1株当たり純資産額 1,437.50円	1株当たり純資産額 1,561.75円
1株当たり当期純利益 68.41円	1株当たり当期純利益 172.65円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（注）1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	312,749	765,693
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	312,749	765,693
普通株式の期中平均株式数（千株）	4,571	4,435

（企業結合等に関する注記）

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

（1）被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社明王化成
事業の内容 合成樹脂成形加工及び販売
電子部品の組立及び販売
その他付帯する業務

（2）企業結合を行った主な理由

被取得企業の幅広い射出成形技術を獲得し、プレス、めっき、インサート成形という当社グループが進める一貫加工体制が可能となり、ビジネスの拡大を加速することでさらなる競争力の強化を図るため。

（3）企業結合日

株式取得日 2024年11月18日（みなし取得日 2025年1月31日）

（4）企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

（5）結合後企業の名称

変更ありません。

（6）取得した議決権比率

100%

（7）取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年1月31日をみなし取得日としているため、当連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しており、連結損益計算書には被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 0千円
取得原価 0千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 3,025千円

5. 受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	64,628千円
固定資産	3,301
資産合計	67,929
流動負債	43,702
固定負債	28,557
負債合計	72,259

6. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

4,330千円

(2) 発生原因

今後の事業活動によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

重要性が乏しいため、発生時に一括償却しております。

7. 企業結合が当連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

当該影響の概算額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません